



秋田をこくる建設人

Vol.02

測量

佐々木 龍馬さん(20代)
(株)石川技研コンサルタント[秋田市]
キャリア7年



向上心と、探求心。
オールラウンダーな
技術者という「高み」を
目指す若手エンジニア



秋田県の北部を流れ日本海にそそぐ米代川は、最大支流の阿仁川をはじめ大小84の支流がある。石川技研コンサルタントで測量技術者として働く佐々木龍馬さんは、この米代川水系の河川測量を担当している。努力家で、社内でも仕事の速さと正確さには定評があり、若手ながら責任の大きい仕事を任されている。

仕事の「やりがい」は？

測量にも様々あり、自分が従事している路線測量は道路建設や護岸整備などの工事に直結していますし、河川測量も基礎データとしてだけでなく、洪水対策など防災の観点でも活用されています。現在は主に米代川水系の河川測量を担当しているので、流量に変化がある場合、時間に関係なく出勤しなくてはなりません。先日の大雨のときも、二ツ井地域で測量を行いました。夜中の作業は大変ですが、地元の安全を守る大事なデータです。地域のインフラ整備に貢献できる点が一番のやりがいになっています。

建設業界に入ったきっかけは？

高校2年の時、就職のことも考えて土木系の学科に変更しました。建設業に対しては、父親も建設関連の仕事をしていたので、きつそうだけどカッコいいなというイメージを持っていましたね。地域に貢献できる仕事だと思ったのが決め手です。実際、夏や冬の外の現場はやはりきついです。入社時は覚えることも多くて大変でしたが、今は大分慣れました。努力次第でいろんなことに挑戦できるという意味で、建設業を選んで良かったなと思います。自分の成長も感じられるので、この仕事が好きですね。

目指す技術者像は？

測量だけでなく、図面やデータも詳しい「オールラウンダー」です。入社して間もないころ、*道路台帳補正測量業務がありました。当時は測量の部分で携わったのですが、もしまた機会があれば図面の作成まで関わってみたいですね。昨今は3Dやドローン技術などのICT技術も普及してきています。測量の現場でも主流になりつつあり、新しい機械も増えていますから、常にスキルアップは欠かせません。まずは、河川点検士や測量士の資格を取得して、少しずつ仕事の幅を広げていきたいです。

キャリアアップ
CAREER UP

2015年
入社

スペシャリストを育成するという社内の教育システムの一環で、専門学校で測量学を学ぶ

2018年(4年目)
専門学校 測量学科 入学

2019年(5年目)
専門学校 測量学科 卒業
測量士補 取得
UAV安全操縦スペシャリスト 取得

2021年(7年目)
一級小型船舶操縦免許
取得

河川測量および海上での深浅測量において必要なライセンスとして取得

コロナに残っているプロジェクト

*道路台帳補正測量業務
(2015-2016年/秋田県)

日本海沿岸東北自動車道(金浦-象潟間)の、道路台帳図作成の際に測量助手として携わった。入社して間もない時期の規模の大きいプロジェクトで、開通前に真新しい高速道路の上を歩いたことが印象に残っている。



佐々木 龍馬さんの
もうひとつの
物語

時間を忘れて釣りに

釣りが趣味だという佐々木さん。天気の良い週末には、高校時代の友人と釣りに出かけている。日常から離れて波の音を聴いているだけでも癒されるのだそう。「小型船舶の免許も取りましたし、いずれは大会にも挑戦してみたいですね。釣りをしている間は、仕事どころか時間がたつのも忘れるくらいです」と、緊張感のある仕事とメリハリをつけてリフレッシュすることで、生活リズムを整えているようだ。

